

# 令和 8 年度 「運営に関する計画」

## 学校目標

「立ち向かい、乗り越える力を育成する」  
－寄り添い、自尊感情を高める－

大阪市立榎本小学校

令和8年4月

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題****【安全・安心な教育の推進】**

令和7年度小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合が、旧3年89.4%、旧4年88.0%、旧5年79.0%である。また、令和7年度全国学力・学習状況調査児童質問紙において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は81.2%である。不登校児童は改善がみられる児童もいるが、新たに不登校になる児童もあり、割合は増加傾向にある。多くの児童が安心・安全に登校できている状況であるが、学級・学年・学校全体で友だちと喜びを味わえる活動や成功体験を積み重ねることを通して児童の自尊感情をより高め、「学校は楽しい」と肯定的に回答する児童の割合を95%以上にしていく。

様々な教育活動や教職員と児童の信頼関係を構築することで、いじめを許さない意識をより高めていくとともに、いじめについてはアンケートや心の天気を活用し、早期発見・解消に今後も努めていく。解消率については100%に近づける。不登校児童についても家庭との連携の連続性をより深め、不登校在籍率が1.0%【令和7年度2.4%】を切るようにしていく。

より主体的に行動できる高学年の育成を図りながら、子どもたちの横のつながりと縦のつながりを太くしていくことを意識した教育活動を推進すること、並びに児童一人一人のがんばりを認め、自尊感情を高める取り組みを継続して行いながら、より安心・安全な学校づくりを実現させていく。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

令和7年度小学校学力経年調査は、前年度並みの結果であった。しかし、課題もあるため、しっかりと検証し、今年度以降の取組を考えていく。学校アンケート「授業の内容がわかる(令和6年度91%、令和7年度92%)」「基本的な生活習慣が身に付いている(令和6年度89%、令和7年度87%)」等の校内アンケートでも、高水準を維持しており、学習規律が確立でき、児童の学習意欲も高まってきている。国語科について、令和7年度の4～6年生校内平均正答率(市平均正答率比)は前年度と比較すると旧3年: -0.3P→±0、旧4年: -2.4P→+0.8P、旧5年+0.1P→-2.2Pとなった。授業力向上に向けた研修を重ね、今年度も大阪市平均を上回ることができるようしていく。

令和7年度小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上(令和7年度37.6%)にする。そのため、主体的・対話的で深い学びの授業、協働的な学びを更に推進できるよう、学校全体での研修を重ねて授業改善を図る。

**【学びを支える教育環境の充実】**

授業日における学習用端末の使用機会を増やしてきた。昨年度は、授業での活用とともに、『心の天気』を日々活用し、児童の見取りの可視化も大切にしてきた。授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、1月末時点で年間授業日の22.6%と低い状況である。【令和6年度26.6%】授業以外の場面での学習者用端末の活用事例を広げることで、さらなる児童の活用割合を増やしていく。

本校において、教員の長時間勤務は大阪市平均と比較すると下回っている。しかし、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1(時間外勤務 月45時間、年間360時間)については十分満たしてはいない【令和7年度69.09%】。ワークライフバランスを考えた働き方が必要とされている。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ① 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95%以上にする。
- ② 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。
- ② 令和 11 年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度利用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ② 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1（月 45 時間、年 360 時間）を満たす教職員の割合を 75%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。【令和 7 年度 平均 85.5%、旧 3 年 89.4%、旧 4 年 88.0%、旧 5 年 79.0%】
- ② 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。【旧 3 年：－0.3P→±0P、旧 4 年：－2.4P→+0.8P、旧 5 年+0.1P→－2.2P】
- ② 令和 8 年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。【令和 7 年度 平均 77.8%（旧 3 年 79.7%、旧 4 年 83.5%、旧 5 年 70.1%）】

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度利用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 80%以上にする。【平均 59.1%（旧 3 年 69.2%、旧 4 年 57.9%、旧 5 年 50.3%）】
- ② 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1（月 45 時間、年 360 時間）を満たす教職員の割合を 70%以上にする。【令和 7 年度 69.09%】

### 3 本年度の自己評価結果の総括

**【安全・安心な教育の推進】**

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

**【学びを支える教育環境の充実】**

## 大阪市立榎本小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した       | B：目標どおりに達成した           |
|      | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                  | 達成状況 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b><br><b>年度目標</b><br>① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。【令和 7 年度 平均 85.5%、旧 3 年 89.4%、旧 4 年 88.0%、旧 5 年 79.0%】<br>② 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                                                | 進捗状況 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</b><br><b>学校が安全・安心な自分の居場所と感じ、学校に行くのが楽しいと思うことができる児童を育む。</b>                                 |      |
| <b>指標</b><br>・児童集会を毎週行い、異学年との交流を活性化する。<br>・毎日の心の天気や学期ごとのいじめアンケートを実施し、児童の些細な変化を見逃さないようにする。                                   |      |
| <b>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</b><br><b>小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</b> |      |
| <b>指標</b><br>・学期に 2 回、学級の目標や仲間について振り返る活動を行い、自他理解を深める。<br>・週に 1 回以上、道徳の学習や帰りの会で、感謝や友情、相互理解を深める活動を行う。                         |      |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析                                                                                                     |      |
|                                                                                                                             |      |
| 次年度への改善点                                                                                                                    |      |
|                                                                                                                             |      |

## 大阪市立榎本小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した       | B：目標どおりに達成した           |
|      | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 達成<br>状況 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| <b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b><br><b>年度目標</b><br>① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。<br><b>【旧 3 年：－0.3P→±0P、旧 4 年：－2.4P→＋0.8P、旧 5 年＋0.1P→－2.2P】</b><br>② 令和 8 年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 <b>【令和 7 年度 平均 77.8%（旧 3 年 79.7%、旧 4 年 83.5%、旧 5 年 70.1%）】</b> |          |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                                                                                                                  | 進捗<br>状況 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| <b>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b><br><b>国語科の指導法を工夫し、児童の学力向上に努める。</b>                                                                                                                      |          |
| <b>指標</b><br>・朝の学習の時間に週 1 回朝の読書を行う。<br>・経年調査における、「国語の授業はよくわかりますか」に対する肯定的な回答を前年度以上にする。<br>・教員全員が公開授業を行う。                                                                                       |          |
| <b>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b><br><b>「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現に向けた授業改善を図る。</b>                                                                                                              |          |
| <b>指標</b><br>・対話的な活動を取り入れた授業を 1 日 1 回以上行う。<br>・校内研究授業以外で、他教員の公開授業の参観を各学期に 1 回以上行う。<br>・学校アンケート「友だちとの話し合い活動で自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」の最も肯定的な回答（あてはまる）をする児童の割合を 48%以上にする。 <b>【令和 7 年度 46.5%】</b> |          |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析                                                                                                                                                                       |          |
|                                                                                                                                                                                               |          |
| 次年度への改善点                                                                                                                                                                                      |          |
|                                                                                                                                                                                               |          |

## 大阪市立榎本小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|      |                      |                         |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した       | B: 目標どおりに達成した           |
|      | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 達成<br>状況 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| <b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b><br><b>年度目標</b><br>① 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度利用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 80%以上にする。【平均 59.1% (旧 3 年 69.2%、旧 4 年 57.9%、旧 5 年 50.3%)】<br>② 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 (月 45 時間、年 360 時間) を満たす教職員の割合を 70%以上にする。【令和 7 年度 69.09%】 |          |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                                              | 進捗<br>状況 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 取組内容①【基本的な方向 6 教育 D X (デジタルトランスフォーメーション)の推進】<br><b>学習者用端末を朝学習や学習活動、家庭学習で使用する。</b>                                         |          |
| 指標<br>・ 3 ～ 6 年は、連絡帳の配信を毎日行う。<br>・ 学習者用端末利活用率を 75%以上にする。<br>・ 毎日「心の天気」を記入する。<br>・ デジタルドリルや学校が指定した学習サイトでの学習や宿題を月に 2 回以上行う。 |          |
| 取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】<br><b>ゆとりの日の定時退勤、業務分担や業務の精選などの工夫をし、ワークライフバランスの保たれた組織づくりを行う。</b>                       |          |
| 指標<br>・ 時間外勤務時間について、月 60 時間以上実施する教員を 0 にする。<br>・ 週 1 回ゆとりの日、月 1 回の定時退勤日を設定する。                                             |          |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析                                                                                                   |          |
|                                                                                                                           |          |
| 次年度への改善点                                                                                                                  |          |
|                                                                                                                           |          |